

議案第77号 工事請負契約の締結について



工事名

の宮中学校校舎耐震改修等

があるのか。

契約方法 工事第1期工事

契約金額

指名 (7 J V) 競争入札

2億6,670 万円

(予定価格2億7,020万円

落札率98・7%

契約相手方

- 永

- 建設工事共同企業体

代增永組 松島秋男

工

契約の日から 平成26年3月31日まで

問 第1期工事とあるが、 2期3期

という事で、 校舎を予定しております。 2期工事としましては、 装の改修、バリアフリー化、エレベー ターの設置等)を予定しております。 一の宮中北側校舎を第1期工事 耐震と大規模改修 来年度南側 (内

起 円、教育基金から1億5,000万円、 規模改修補助金5,290万円、 でおります。 源として1,373万円ほど見込ん レベーター関係補助金1,800万 債1,490万円、 耐震補助金3,300万円、 その他一般財 エ

案は原案のとおり、 と決定いたしました。 以上のような審議を経た結果、 可決すべきもの 本

議案第78号 平成25年度 阿蘇市 般会計補正予算について

(補足説明)

円の追加についての内容は、 おりであります。 歳入歳出補正額688万4 次のと 0 0

す 林であるため県の補助約70%を利用 市有林約17町を伐採しており、 し、緊急に事業をする必要がありま ので、 県行造林であります南川原団 森林組合施業計画に追加し 保安 地の

> を充当しております。 助金688万4 事業を行うものであります。 ,000円と予備 県の補

く、 説明があり、 たしました。 財政課長より、 本案は可決すべきものと決定 特に質疑意見等はな 以上のような補足

議案第79号

平成25年度 阿蘇市坂梨財産区特別会計補正予算について

【補足説明】

ります。 についての内容は、 歳入歳出補正額706万円の追加 次のとおりであ

新たにボーリングを行い水量の確保 を行う必要があるため、 害により配水池の水量不足のため、 新たに古閑地区のボーリング工事と て906万円計上。 一般工事費を200万円減額 昨年の豪雨災 緊急的工事

> 財源については、 費として計上するものであります。 金で対応します。 0万円取り崩しまし 財政調整基金40 残りは繰越

説明があり、 たしました。 財政課長より、 本案は可決すべきものと決定 特に質疑意見等はな 以上のような補

作成

とあ

る

が、

考えています。 的に使って 分は市内 予定であ ましてから実動 ては、 :成する業者はどこか の業者 いき が認 可 つきまし [を積 に移る めら た 能 な部 ζý کے 極 ħ

どのようにするのか。 うことだが、全体的に は何ヶ所ぐら で8ヶ所取 の避雷対策ということ 全体 光ネット り組むと で8ヶ所あ いあって、 ワー ク 7

に付託

され 案8件、

まし

いて

総務常任

会 お

9

月

定

例

過と結

果は、

次のとお

その主

な審議の経

1

件であ

りま

認定6 た案件 一委員 会に

り、 /\ 区 無 テレワークセンター 0 セ 総中継局。 ンター。 センター その内訳 中中 次に、一の宮サ کے の境 の送信 継 阿蘇山 と波野 は、 に 火山 あ 宮 サブ 阿蘇 り 田 地 上 の 地 博 X 0

度阿蘇市一 正予算につい

般会計

成 25

て

総務課所

問

九州

北部豪雨災

本庁舎障

が

(V

所が考えられますので、 電圧 部 それぞれの施設 落雷があった場合、 無 ようにしています。 伝う部分、 てきますのが、 線中 分に避雷器をつけ 橋本盆 アース部分の3ヶ 高電流が侵入し 送信 裁店付 電線を いのその ります。 ケー 近 高 る ブ 0

財 放課所

ており、 本的には全戸です。全城3の2区までで、基 これは全戸が対象か。 課のほうで行 戸 0 本管の埋設 同 2意書をいただい 古城1区から古 それに基づい ってい を水道 き

ます。 なって また、 に、 ま と思うが広くなるのか。 を停めてATMを利用 現 り 者 屋根付きの身体障 かなり削ることになり 駐 付 さ 前 しているのを見 *)*ます。 いすの にして目立つように 方に出るかたちにな に駐車場を設置 車 近 在 れるということだが 近 よ く 一 近はロー の障がい者駐 に屋根つきで設置 -場か おり、 で、 また税務課前 ATM付近 A T M 舗装部 5 般の 今より南 タリーで、 少し狭い の 元かける。 方が車場 入り口 分も青 いたし A T から が 側 7 に M

に

0

17

て

は 屋

度

及まで

0

棟調

杳.

年 全

統合整備事業が 古城地区の 不だが、 水 方が停める な色に 停めることも ますので、

4

統

0 0 経 た結 と決定いたしました。 とおり可決すべきも 以 上 果、 のような審

本案は原案

して いうふ

いるの

うに の 況

進

め

ようと

議

を

そ 状 は

あ

たりはどう

進 宮

捗

が

非常に遅

につい 年度阿蘇市 認定第1号 歳入歳出決 般会計 平 成 24 の 認

税務課 所

般 なく 0 ます。 併当初 るとい るが、 して、 7 7 いと思っております。 ま 0 ましては終了してお に だが、 問 に終わる 3地 す。 は 20 3 年 間 25年度に から すでに 地 旧 旧 う予定は守りた 区に入っており ^地籍調査 8% 旧阿 波 波 野村につい 終わって 野 蘇 旧 村につき で終了す 脈町は合 且につい になりま 旧 阿 蘇 <u>ー</u>の

町

ŋ

0 玉 0 的 % に 見ましても、 直自体 つ た調 が

> さらに で、 す。 とで、 協議 となってきます。 制制 ております との協議で 現状でござ いくことに 17 4 名 の 1 査 、った事 ができるの にするの の事業量 非常に 現在、 予算配: 今より急ぐとなる が整った段階で、 な 県とも Ŋ 前 班 難しい なりますの か、 が、 分や 協 体 呵 決定され は か、 調 議 ょす。 。 3 2 班 体 でやっ 市では 整して が そう その 必要 本籍課 うこ 面 ま

ては難 寄りが 結構残 らに筆界未定地につい 後世になったとき、 らない』といったケー たり もっております。 きるようにお願いしたい。 スが多々見受けられる。 でも しくなると思う ζ) つ 少しでも早くで でおり、『年の年界未定地が 政的 ない 宮 地の 題等あるだ な問 からわか 街 題 中 z あ

います。

町

25

%

ぐらいと、

を

はないのか。 が、 していくと 今後、 犯 電 L 気 17 料 う Е D 事

5 D 化 のあたりで行政 おります。 の都 い部分がございます。 理解をまだいただけ とになりますの 行 管理費を考慮し、L ありました時 の方を 度、 置費用 一で負 防 の設置費用 犯灯 。しか お勧 来的 担 元が少し高 とい に の 区のご んしなが で、 な維 は、 8 申 ・うこ は各 して 請 そ な Ē 持 そ が

自治: の面 ことを検討 うかたちをとっている 犯灯だけ 環境面を考えても、 でも L リース方式とい もあるから、将 ED化する でなく、他 するべきで

または どうい 題としてい ζ? ... 各行 った方法が市、 の 政区にとっ きます。 かを検討 来的

> う考えているの を聞い を は に入らな 金 各区長からよく話 くが、 0 方 関 いということ 市としてど ほと 0 活 ど区 動 近 助

設置してある道 されます 方でも、 区に入っておら ところであ 制力がな 加入につきましては強 願 ては、 れますの 区 続きに来られた時に、 の周知と、 いはしておりますが、 まず、 阿蘇市としまし で、 し、防 当然ゴミも出 ζ) のが り、 公共 加入の 転 ただ、 実際 入の手 も通 犯灯 れ ハの場 ない 5 が の お

て、 す。 ただいておりま ように、 題となって 所に関する管理費と 検討もお話 か するのかが、 に分けて設定する等 -会員的 区長会役員 いかに区費を徴 通常の区費と、 な区費 区費を段階 いるようで しさせて へ の 各区の課 とい 会の 加 0 的 う な 収 入 77 L

5 る に い のも事実です。 ないかと話 て、 どうに が出 か 7 な

41

政課所

か。 され パ 線の整備 クを繋ぐようなバス路 問] た場合、 クに阿蘇市 今後、 は考えている ジオパー 界ジオ が認 定

今後、 等、 して、 るが、 パ 関 額 増 は タクシーの関連性に なってくると思います。 たな取り組みも必要に をとりながら、 ζ) 問 、るか。 |連性などをどう見て 増える。 は減るがタクシー らせば、 の交通手段など、 1 そういった部分で クの観光客 経済部 バス路線 乗合タクシー 地方バスと乗合 呵 蘇 今後、 バスの補 市 線を廃 とも連 ٤ の誘 ジ 光地 新 な オ 0 代 助 を 止 携 致

補助 を 減 金は減ってきます。 らせば、 勿論、 その分の 線 バ ス

> その や、 シ す くらい廃止するのか等、 ٤ 夕 L 41 た しておりません。 いろんなケー は、 クシー ・うの 0 ていくことになりま 1 で、 あたりまでは想定 1 路線バスをどの そ 現時点 -スの . の 0 増える割 今後の乗合 分 変動 るの スを検討 が では かか 夕 あ 合 کے ク

る。 ŋ む が小 ジ が りとお願 たくさん出すとなると、 8 L て、 ヤ 口 に といったことにも 経費がかからずに済 さいバスを出した方 0 って つい その 運 乗合タクシー 路線バスを廃 、ては、 いする。 あたりの見 大きな つ

お え 3ります。 ていきたいと思って ンボタクシーあた !行というのも考 おりますので、 バ

0 0 経 と決定いたしました。 とおり認定すべきも た結 以 Ĺ のような審議 本案は原

案

を

請願第2号 し消費税増税中止 につい 玉 に対

ては、 を得な から先 て、 ٤ ることなの 税 的 なこと の目 消費税増税はや 将 社会の いと思う。 的 の 来の安定に繋が だ などを考える で、 んから 済状況や増 は 流 玉 私とし れとし 0 これ 財 te 政

> にして では保

> いただきた 留というかたち

ス か 極 な 中で、 す。 とら 年々 0 政 だ 極 0 から、 情 で 治 8 **見** 私も同じ意見で はな れ 増えていっている。 7 的 勢や景気判断を見 るの 決め 玉 にもこの 社 今、 4 の は仕 ていくわけ 1 Ō

会保障費 借金がある 方な 対策を 0 8 4 () 案件に す。 員 会に

我々は一 私とし に反対 ような感情も認識して、 しくなってくるので、 生活も今まで以 るのではない 0 方に る とい は、 7 般 は、 0 市民 う意 よう 消 かと思う。 本委員会 いのその 上に厳 心見もあ 税 な 増税 市 意 民

にすべきも た 経 しました。 た結 以 上 果、 0 よう のと決定 本 案は な 審議 保留 17

を 止

以 上 付託 が、 され ての報告 務 ました 常 任 委

